

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文 学 部	身分	教授
氏名	兵藤宗吉		
NAME	Muneyoshi HYODO		

## 1. 研究課題

（和文）日本及び中華人民共和国、台湾、マレーシアにおける自伝的記憶とエピソード的未来思考に関する研究

（英文）Studies on autobiographical memory and episodic future thinking in Japan and the People's Republic of China, Taiwan, and Malaysia

## 2. 研究期間

2020・2021 年度 ※2021 年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により 1 年間延長

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）過去の自分に関する記憶の総体を「自伝的記憶」という。自伝的記憶は、単なる記憶現象ではなく、また単に日常生活の行動や出来事を覚えていることではなく、自伝的記憶として自分がどのような人間（アイデンティティ）であるか、どのように生きてきたかを自己認識して、それを踏まえて他者と関わるための機能を持つ。また、人間は、自伝的記憶に基づき将来の自己の出来事について思考を巡らせ、その出来事を今まさに経験しているように心の中でシミュレートする能力がある。この能力を「エピソード的未来思考」という。本研究の目的は、異なる社会文化環境下における、自伝的記憶とエピソード的未来思考について、日本、中華人民共和国、台湾、マレーシアの大学生を対象にして実験的研究を行うことである。2021 度中に日本、中華人民共和国、台湾、マレーシアで自伝的記憶とエピソード的未来思考に関する実験を行う予定であったがコロナ禍のために、海外での実験的研究はできなかった。しかし、日本において、2021 年 12 月に日本人大学生を対象として実験を実施し、データを取得することができた。実験結果から、これまでの結果と同様に、自伝的記憶の想起において、また将来に起こると想像されるエピソード的未来思考の想起の両方において、快感情の影響が観察された。すなわち、快な出来事の想起数は、中立と不快な出来事よりも有意に多いというポジティビティバイアスが確認できた。また感情制御に関しては、自伝的記憶とエピソード的未来思考の想起前後において不快感情、具体的には「抑うつ・不安」と「倦怠」が有意に低下することを明らかにした。また、2022 年 3 月に奄美大島において住民を対象にして自伝的記憶に関するインタビュー調査を行った。

(英文) Autobiographical memory has the function of self-recognizing what kind of person (identity) you are and how you have lived, and interacting with others based on that. Humans are also capable of thinking about future self-events and simulating them in their minds as if they were experiencing them right now. This ability is called "episode-like future thinking." The purpose of this study is to conduct an experimental study of autobiographical memory and episodic future thinking in different socio-cultural environments for university students in Japan, the People's Republic of China, Taiwan, and Malaysia. In December 2021, we conducted an experiment targeting Japanese university students and were able to obtain data. From the experimental results, as in the previous results, there is a positive bias that the number of recalls of pleasant events is significantly higher than that of neutral and unpleasant events in both autobiographical memory and recall of episodic future thinking. It could be confirmed. Regarding emotional control, it was clarified that unpleasant emotions, specifically "depression / anxiety" and "malaise", were significantly reduced before and after recollection of autobiographical memory and episodic future thinking.